

洗足学園音楽大学
フルートオーケストラ演奏会

2021年6月30日(水)

18:00 開演 (17:30 開場)

洗足学園 前田ホール

ごあいさつ

全世界的に続くコロナ禍の折、今年も演奏の機会をいただき、尽力下さった関係者各位に感謝を申し上げます。

本フルートオーケストラでは、授業、リハーサルにできうる限りの感染症対策を施しつつ、アンサンブル能力の育成、合奏における音楽理解を進める、という本来の目的を失わないよう、一同努力して参りました。

この度はプログラムとしまして、バリエーション豊かにグレン・ミラー楽団の名曲から、クラシック音楽史上に燦然と輝く名曲、技巧的なフルート協奏曲などを本オーケストラ用にアレンジした、新鮮で魅力的なサウンドを若い学生の情熱とともにお送りできればと思っております。お楽しみください！

フルートオーケストラ 企画運営責任者
斎藤 和志

～新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い～

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ・出演者とのご面会は楽屋口、ロビーを含め全面でご遠慮いただいております。尚、出演者への花束・プレゼントもお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場をお願い申し上げます。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願い申し上げます。
- ・客席やロビーでのご飲食はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・大声や対面での会話はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

Program

牧神の午後への前奏曲 / C.ドビュッシー

Prelude a "L'apres-midi d'un faune" / C.Debussy

フルートソロ 足立 柚寿(音楽学部4年)

フルート協奏曲 / J.イベール

Concerto pour flûte / J.Ibert

第一楽章	Allegro	土持 志織 (音楽学部3年)
第二楽章	Andante	清水 涼花 (音楽学部4年)
第三楽章	Allegro scherzando	福井 麻菜 (音楽学部4年)

♪休憩♪

インザムード / J.ガーランド

In The Mood / J.Garland

ムーンライト セレナーデ / A.G.ミラー

Moonlight Serenade / A.G.Miller

バレエ音楽《三角帽子》より / M.ファリャ

El sombrero de tres picos / M.Falla

Introduccion~Tarde	(序奏)
Danza del Molinero (Farruca)	(粉屋の踊り)
Danza Final	(終幕の踊り)

指揮：瀬尾 宗利 (本学講師)

洗足学園音楽大学 フルートオーケストラ

全編曲：岩岡 一志 (本学講師)

Program Notes

牧神の午後への前奏曲 / C.ドビュッシー

Prelude a "L'apres-midi d'un faune" / C. Debussy

この作品は、フランスの作曲家クロード・ドビュッシー(1862-1918)が、1892年から1894年にかけて作曲した管弦楽曲であり、彼が、世に出るきっかけとなった曲である。彼が心から尊敬し、慕っていた詩人マラルメ(1842-1898)の「牧神の午後」(半獣神の午後)という詩に、とても感銘を受け作曲された。

「夏の昼下がり、好色な牧神が昼寝のまどろみの中で官能的な夢にふける」という内容で、牧神パーンが吹いたとされる「パンの笛」をイメージして、曲のなかでフルートが重要な役割を担っている。特に、冒頭のフルートのソロは、なんともドビュッシーらしく、幻想的で、独創的な曲想を作り出している。

今回はフルートオーケストラで演奏するが、曲の中で特徴的なハープもフルートで、またオーボエのパートでは、ビービーフルートと言われる特殊なフルートを使用している。

曲が始まった瞬間、どこか遠くの世界に誘ってくれるような、輝かしいフルートソロと、フルートオーケストラでしか味わえない同属楽器のサウンドの美しさをお楽しみいただきたい。

(音楽学部4年 足立 柚寿)

Program Notes

フルート協奏曲 / J.イベール Concerto pour flûte / J.Ibert

この協奏曲は、ジャック・イベール(1890-1962)が20世紀を代表するフルーティスト、マルセル・モイーズの為に作曲した作品である。そして、数あるフルート協奏曲の中でもモーツァルトに並ぶ傑作といっても過言ではない。そんなフルートとオーケストラのための協奏曲を、今回は岩岡一志氏による洗足オリジナルの編曲で、3人のソリストとフルートオーケストラと共にお届けする。オーケストラの中に潜む主題や、各楽章のそれぞれのソリストが奏でる世界観をお楽しみいただきたい。

第一楽章

印象的な短い前奏から勢いよく飛び出すフルートは、なりふり構わずひたすらに突き進んでいく。しかし、中間部では立ち止まり、時には割り切れない心のため息をつき、時には悲痛な心の叫びを露わにする。今回は、そんなヒステリックともいえる心の葛藤を存分に聞いていただきたい。
(音楽学部3年 土持 志織)

第二楽章

第一楽章とは対照的で、全体的には穏やかな雰囲気である。私はこの楽章を大自然の様に、特に「海」の様に感じる部分が多い。

そして「海」と言っても、優しく暖かい気持ちのように穏やかだったり、怒り泣いているように荒れていたり、様々な表情の「海」があるだろう。そんな大自然を見ている時、私は自分の心奥深くにある想いを感じる事が多く、この楽章を聴いている時も同じ様な事を感じるのだ。

この楽章は、彼の亡くなった父へのレクイエムという説もあるが定かではない。しかし、やはり心の奥で何か感じるものがあることは確かだろう。

(音楽学部4年 清水 涼花)

第三楽章

華やかな舞踏会の幕開けのように始まり、独奏フルートがまるで踊るかのように奏でられる。しかし、中間部では雰囲気を一変し、秘めた心の内を明かすように静かな旋律になる。今回は私なりに華やかな舞踏会を演出し、そして私自身の心の内を明かすような演奏をするので楽しみにして頂きたい。
(音楽学部4年 福井 麻菜)

Program Notes

インザムード / J.ガーランド In The Mood / J.Garland

ジョー・ガーランド(1903-1977)が作曲した、ジャズの楽曲。グレン・ミラー楽団の演奏によりヒットし、ビッグバンドの代表的な楽曲として知られる。

サクソフォーンやトランペット等による軽快なテーマのフレーズや華やかな曲調は、記憶に残りやすく、誰もが一度は耳にしたことがあるだろう。

時代を超えて愛される名曲を、今回はフルートオーケストラのサウンドでお届けし、原曲や様々なアレンジと聴き比べながら、楽しんで頂きたい。

(音楽学部4年 小林 千夏)

ムーンライト セレナーデ / A.G.ミラー Moonlight Serenade / A.G.Miller

アメリカの作曲家であり、トロンボーン奏者のグレン・ミラー(1904-1944)によって作曲されたスウィングジャズの楽曲。先に演奏するIn the Moodと同様この曲もグレン・ミラー楽団の演奏でヒットした。演奏される機会が多く、日本でもテレビドラマの主題歌やCMなどで起用されている為、聞き馴染みのある一曲ではないだろうか。

セレナーデ(Serenade)とは、夕べに恋人の部屋の窓外で、歌い奏でられる恋愛の曲という意味をも持つ。その名の通り、一度耳にすれば忘れられないロマンティックで優美なメロディーを奏でる一曲となっている。

(音楽学部4年 川野 真奈)

バレエ音楽《三角帽子》より / M.ファリャ El sombrero de tres picos / M.Falla

マヌエル・デ・ファリャ(1876-1946)はスペインの作曲家で、「ファルーカ」や、「ホタ」「ファンダンゴ」といったスペイン色を管弦楽曲に残し、スペインの民族主義の存在を世に広める役割を果たした。

バレエ音楽《三角帽子》は、セルゲイ・ディアギレフが彼の率いるロシア・バレエ団バレエ・リュスのために依頼したことで作曲された。スペインの作家であるペドロ・アントニオ・デ・アラルコン(1833-1891)がスペイン南部アンダルシア地方を舞台とした民話に基づいて書いた短編小説「三角帽子」を元としている。

ファリャは、《恋は魔術師》の脚本作家グレゴリオ・マルティネス・シエラとタッグを組み、まずパントマイムのための音楽《代官と粉屋の女房》として作曲し、マドリッドで演奏された。その後バレエ化に取り掛かるが、その際、ディアギレフがスペインの民族的舞曲を取り入れるように望んだため、大改訂が行われ現在の《三角帽子》が完成する。初演は1919年7月に行われ、舞台装置・衣装にはスペインに生まれた現代美術の巨匠パブロ・ピカソ(1881-1973)が起用された。

あらすじは、三つ角のある帽子を被った代官が、通りすがりに美しい粉屋の女房を見つけ、横恋慕を押し通そうとするが、しっかりした女房と粉屋に巧みにかわされて大恥をかく、というものである。本日はフルートオーケストラ版でお送りする。

(音楽学部4年 鈴木 皓大)

Conductor



瀬尾 宗利 *Munetoshi Senoo*

1967年、つくば市生まれ。県立土浦第一高等学校、文教大学教育学部音楽専修卒業。
指揮を大友直人、堀俊輔、クラリネットを佐川聖二、黒尾実、声楽を西義一、作曲を柳田孝義の各氏に師事。

現在は、洗足学園音楽大学非常勤講師を務めるほか、吹奏楽をはじめ、オーケストラや合唱の指揮者、指導者として、全国各地を渡り歩く毎日をおくっている。また、吹奏楽曲への編曲も手掛けており、アーノルドの「第六の幸福をもたらす宿」(ロケットミュージック)や「交響曲第五番」(Novello)、ラフマニノフの「交響曲第二番」(CAFUA)など、多数の作品が幅広く全国の吹奏楽団で演奏されている。

次回公演のお知らせ

洗足学園音楽大学 フルートオーケストラ 演奏会
2021年11月24日(水) 18:00開演(予定) 17:30開場
洗足学園音楽 前田ホール

指揮：瀬尾 宗利 (本学教員)

岩岡 一志／9つの日本民謡による組曲
G.ビゼー(岩岡 一志 版)／カルメンファンタジー
E.セジヨルネ／ダブル打楽器協奏曲
B.バルトーク／ハンガリー農民組曲

*開演時間、演奏曲目等、止むを得ず変更する場合がございます。
あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

Flute Orchestra Member



《音楽学部4年》 熊谷 里奈 朝日 一輝 足立 柚寿 川野 真奈 小林 千夏
清水 涼花 福井 麻菜 岡本 大志

《音楽学部3年》 梅崎 真綾 榊原 里來 佐野 鈴菜 清 友菜 田嶋 智翠
土持 志織 中川 彩 町田 花音

《音楽学部2年》 中川 花音 池田徳羽子 石川 裕葵 金子 幸恵 菅野 真結子
行徳 ほんのか 齊藤 麗 清水 花恵 鈴木 彩良 鈴木 佑菜
松崎 まり 宮内 菜歩 Liu Chengyan

《音楽学部1年》 池上 晏珠 打越 清楓 岡田 理奈 鎌仲 思実 塩野 祐也
Trannguyen Baotran 藤井 千尋 森本 舞

Flute : 府川 悠理(院2) * 賛助 Contrabasses : 吉田 智海 * 演奏補助要員

Percussions : 鈴木 皓大(学4) 入江 美咲(学3) 江原 和紀(学3) 大石 水紀(学3)
小野寺 俊介(学3) 中嶋 遼(学3) 中田 実紅(学3) 星 陽華(学3)

越中 亮太(院1) * 賛助 大西 悠斗(院1) * 賛助

企画運営責任者：斎藤 和志

指導教員：泉 真由 岩岡 一志 中村 祐子 渡部 亨

アカデミックコーディネーター：大島 健太郎

助手：城野 裕子

